

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

December / 14 / 2018 # 69

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『コンディション』

[2] Pepeのひとりごと

『余裕』

[3] おすすめ動画

『Peter Moore; James Baillieu - Rachmaninov Cello Sonata; iii Andante』

『How to Breathe for Trombone - Ian Bousfield』

[4] 演奏のヒント！

『口の中の容積 Part 2』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『コンディション』

9月からずっとオーケストラのハードスケジュールが続いています。体調管理に気をつけて、今のところは順調に過ごせています。

こういう状況に身を置いて、改めて感じること、確認できたことは、日常的なコンディション（楽器演奏のための）の作り方です。

毎日の過ごし方ももちろん影響しますが、楽器演奏に関していうと、

ウォームアップをはじめ、基礎練習をどのように毎日の生活に組み込んでいくか、ということが大切だと思っています。

いつも同じもの（同じパターン）をすることによってチェックできることもたくさんあるので、もちろんそのようにするのはいいことなのですが、なにか少しでも不安なものが見つかったときに、それに応じた練習ができるようにしておくことはとても大切だと感じています。

コンディション維持のための引き出し（選択肢）をたくさん持っておかないと、何か一つの不具合からその他の不具合を誘発することが起こり得ます。

日頃からいろいろなことに疑問を持ち、いろいろなことを試してみることをおすすめします。

なにか起こってしまってからでは遅いですから、なんともない「普通」の日々にしっかりと実験をしておいたほうがいいですよ。

[2] Pepeのひとりごと

『余裕のある音』

最近、現場でもよく感じていることなのですが、高い音を「高い音っぽく」吹く人が意外と多いなあ、と感じています。

僕の考え方（目標？）なのですが、高い音は「高い音っぽくなく」吹いたほうが上手に聴こえるし、格好いいと思っています。:)

そのためにはどうすればいいのか。

ポイントとしては、「その音が出た時点で満足しないこと」ではないかと思っています。

例えば、高いB \flat の音を出すとします。

これを外さないきれいに当てる。

多くの方はここで終わってしまうと思うのですが、ここで、その先を考えてみましょう。

その状態で、その1つ上か2つ上（半音3つくらい上？）の音が出せますか？

それらの音まで出せる状態（主に身体の状態です）で、目的のB \flat の音を出すようにしてみてください。

そうすると、「当てている音」が「余裕のある音」になって
いきますよ。 :D

[3] おすすめ動画

『Peter Moore; James Baillieu - Rachmaninov Cello Sonata; iii Andante』
[https://www.youtube.com/watch?
v=_ThsmjC2aRU&t=0s&index=7&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg](https://www.youtube.com/watch?v=_ThsmjC2aRU&t=0s&index=7&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

今月の1つ目の動画は、ロンドン交響楽団、副首席Tromboneの
Peter Moore氏の演奏です。

最近、いろいろなところでTrombone奏者たちがS.Rachmaninovの
チェロ・ソナタを演奏していますね。
なんだか一気に増えてきたように感じるのは僕だけ??

こうなってしまうと、敢えて今演奏するのを避けてしまいたい、と
思ってしまう僕です（笑）。

『How to Breathe for Trombone - Ian Bousfield』
[https://www.youtube.com/watch?
v=QQDI9pqbe98&t=0s&index=6&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg](https://www.youtube.com/watch?v=QQDI9pqbe98&t=0s&index=6&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

2つ目の動画は、先月にも紹介したIan Bousfield氏の動画です。
今回のものは、ブレスの取り方について。

僕は、いろいろなことに関して彼の考え方と同じものが多く、とても
共感するところが多いのですが、まさにこれもそのひとつです。

僕は、曲想や音域などで、ブレスの取り方は変わっていくものだと
思っています。
いつも同じブレスでは、いろいろな危険が出てきちゃうと思うし、
音楽表現の幅が狭まってしまうと考えています。

この考え方を押し付けるつもりはさらさらありませんが、何人かの役に
立つのではないかと考えています。
一度、見てみてください。 :)

[4] 演奏のヒント！

『口の中の容積 Part 2』

先月に続いて、今回も口の中の容積について書いていきます。

「最適な口の中の容積」ですが、これは、どのように探していけばいいのでしょうか？

これらのポイントをチェックしてみてください。

・早めのテンポでタンギングができるかどうか
*口の中の容積がその音域に最適なものより大きすぎると、タンギングが不明瞭になったり、いつもより遅くなってしまったりします。

・音階練習の中などでアクセントやスタッカート、fp（フォルテピアノ）をつけて、ちゃんと変化がつくかどうか
*口の中の容積がその音域に最適なものより大きすぎると、変化がうまくつきません。スタッカートは、短く吹くように気をつけるのではなく、発音のツブがちゃんと聴こえるように注意してみましよう。

・リップスラーの練習のとき、例えば上がって下りてきたあとに、もう一度上に上がることができるかどうかをチェックしてみる
*上がって下りてきたときに、必要以上に口の中の容積が広がっていることが多々あります。その場合は、もう一度上がろうとしてみるとうまく上がれません。試してみてください（最初から2往復しようと思っているときにはちゃんと出来てるはずなので、1往復の場合でも、もう1往復する気持ちを持っていると、うまくいきますよ）

これらのポイントを定期的にチェックしていくと、どのくらいの状態が最適なかがわかってくると思います。

その状態の中で、響きのあるいい音を目指して練習を進めていってくださいね！ :D

編集後記

あっという間に12月になり、今年も残すところあと2週間ほどとなりました。

みなさん、インフルエンザなども流行ってきているようですが、元気に過ごしていますか？

僕は、手洗い&うがいをしっかりやりはじめ、いろいろと予防に精を出しています。

忙しいうちは気を張っているのですが、このハードなスケジュールから

一息つけるようになったときが要注意の時期だと思うので、しばらくは
気を抜かないように過ごしていこうと思っています。 :)

先月も少し書きましたが、12月19日（水）に、Osaka Shion Wind Orchestraの
Trombone奏者の戸井田くんと一緒にソロのコンサートをやります。

りそな銀行大阪本店の講堂にて、19時開演です。
チケットは当日券のみで、1,500円となっています。
珍しいAlto Trombone2本でのデュエットもやりますよ～！

関西地域の方々、ぜひ聴きに来てください！
よろしくお祈いします！！ :D

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト
<http://www.pepeabe.com>
ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！
info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』
のバックナンバー、配信停止はこちら
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>